

令和6年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	筑波大学	タイプ	A
事 業 名	ナノ・量子・情報・生命分野融合の国際連携教育プログラム		
海 外 の 相 手 大 学	グルノーブル・アルプ大学（フランス）、ルール大学ボーフム（ボーフム大学）（ドイツ）、ルーベン・カトリック大学（ベルギー）、ボン大学（ドイツ）、ユトレヒト大学（オランダ）		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、欧州の複数の大学とのダブル・ディグリー・プログラムを中心に据え、オンラインによる留学前交流や研究セミナー、現地による講義受講とインターンシップなどのプログラムが、半導体・ナノテクノロジー、量子物理、情報理工、生命環境といった複数の分野で横断的に実施されるよう計画された、学際的で意欲的な取組である。

CiC 構想に基づくこれまでの交流をより戦略的なネットワーク形成へと発展させることを志向している点や、留学経験を通じて博士後期課程への内部進学や海外大学への進学を高めることを目標として掲げている点も高く評価できる。また、運営体制や組織・環境はこれまでの実績を活かしてしっかりと整備されている。

一方で、対象とする学問分野が非常に広い学際的なプログラムであることによって、かえって習得される専門能力について焦点が定まりにくくなることが懸念される。特に、本プログラムで新たに設置する「学際履修コース」と「分野履修コース」のそれぞれの狙いと目標をより明確にすることが必要であり、履修学生との共有なども含め、学際性を特徴とする本プログラムの実効性を高めるための方策について、更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。